

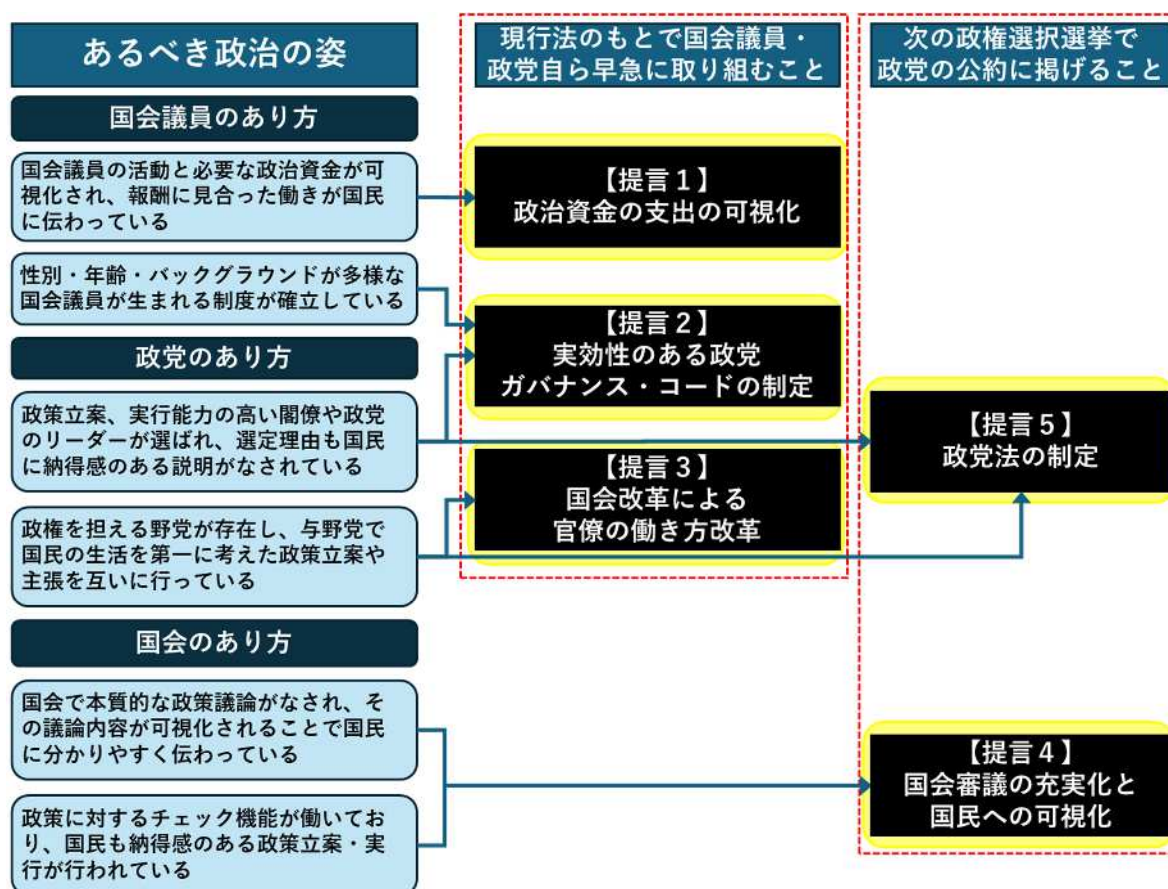
本提言のサマリー

政治不信の解消に向けた政治改革

～改革のモメンタムを高めるための5つの提言～

■ 提言のポイント

- 本会は、自立した個人が支える民主主義を基盤に、多様な個人が将来への希望を持ち、生きがいを感じられる社会の実現を目指している。
- その前提となる政治への信頼は、政治とカネを巡る問題にとどまらず、国会議員の行動や政党・国会のあり方など、複合的な要因が積み重なってきた結果、これまでにないほど失われつつある。
- 政治不信により引き起こされてきた、低い投票率、長期的視野に乏しい政策、官僚の疲弊・なり手不足などの問題は、今後の民主政治や国家運営において解決しなくてはならない重要課題である。
- 本会は、以下の「あるべき政治の姿」を示し、その実現に向け、「現行法のもとで国会議員・政党自ら早急に取り組むこと」および「次の政権選択選挙で政党の公約に掲げること」の2つの時間軸に分け、5つの提言を行う。



■ 提言概要

- 本会は、下記の提言の実現を求めるとともに、改革意思のある国会議員や政党に対し国民との対話や情報発信等の機会を提供していく。
- メディア・シンクタンク・アカデミア等とも連携し世論を喚起していくとともに、企業・団体献金を始めとした政治と企業等との関係に関する意見発信に向けた議論・検討を開始する。

1. 現行法のもとで国会議員・政党自ら早急に取り組むこと（P8～P10）

【提言1】 政治資金の支出の 可視化	～可視化のための基盤づくり～ 政治資金収支報告書のオンライン提出 現金授受の全面廃止、指定口座の使用
	～収支報告書の信頼性確保～ 会計責任者を国会議員へ変更 監査対象とする政治団体の拡大
	～支出の可視化～ 政策活動費・調査研究広報滞在費の使途公開 政治活動と政治資金の使途を紐づけた情報公開
【提言2】 実効性のある政党 ガバナンス・コード の制定	政党ガバナンス・コードの制定・公開 (候補者選定基準、教育・登用システム、資金配分ルール等)
	政党ガバナンス報告書の作成・公開
	内部統制責任者の設置
【提言3】 国会改革による官僚 の働き方改革	質問通告に関する情報公開
	国会のスケジュール化・各委員会の開催情報の公開
	質問取りに関する情報公開

2. 次の政権選択選挙で政党の公約に掲げること（P11～P14）

【提言4】 国会審議の充実化と 国民への可視化	～長期的視野に基づく政策決定とチェック機能強化～ 解散権行使の条件具体化 予備的調査の活用、日本版 GAO・独立財政機関の設置
	～国会を本質的で有意義な政策議論の場とする～ 法案の事前審査・党議拘束の緩和、逐条審査 党首討論の実施、自由討議の拡充
	～国会を審議が膠着しない効率的な政策議論の場とする～ 会期不継続原則の廃止 閣僚の国会出席の弾力化、国会のDX化
【提言5】 政党法の制定	政党ガバナンス・コードの適用義務化・標準化
	党首選挙における罰則導入、支部設置の標準化
	政党交付金の使途制限・返還ルールの厳格化
	最低限の倫理規定の標準化

加えて【提言1～3】の自主的な取組の深化に向けて必要な法改正等を求める（P15）